

**【開催レポート】猛暑の夏休みに空間VRで日本各地へ英会話旅行！  
ECCの英語教材と空間VRのコラボレーションで子どもたちの感性が動く、自然に英  
会話が広がる新プログラムを実施。**



北海道発のウェルビーイングテック企業であるフォレストデジタル株式会社（北海道十勝郡浦幌町、代表取締役CEO: 辻木勇二）は、株式会社ECCが運営する都心のオフィスビル内での英語やSTEAM教育（※1）を小学生向けに提供する英語学童スクール「コトフィスアフタースクールプログラム」とコラボレーションし、「夏休み限定プログラム」の一つとして、空間VR”uralaa”を活用したイマーシブ英語学習体験（没入学習体験）を8月2日に東京大手町のTOKIWA BRIDGEにて開催しました。

※1 科学 (Science) ・技術 (Technology) ・ものづくり (Engineering) ・芸術 (Art) ・数学 (Mathematics) の5つの領域を重視する、21世紀型の新しい教育方針のこと

## ■開催概要

### ・イベント名称:

「コトフィスアフタースクールプログラム夏休み限定イベント」イマーシブ英語学習体験

### ・日時:8月2日(金)13時30分～15時30分

### ・会場:TOKIWA PARK by uralaa (TOKIWA BRIDGE 地下2階)

東京都千代田区大手町2丁目7-1 TOKIWA BRIDGE 地下2階

### ・プログラム:

13時30分～14時30分:映像のお仕事について学ぼう／空間VRを撮影してみよう

14時30分～15時30分:英語で楽しむ！日本全国のひととき旅行

### ・企画・制作:フォレストデジタル株式会社、株式会社ECC

## ■当日の様子

首都圏在住の5歳から小学3年生の計6名が参加しました。プログラム前半では、空間VRのお仕事についての学びを深めていただきました。実際に外に出て360°カメラでの撮影を体験する時間もあり、子どもたちはスタッフと和気あいあいと撮影を楽しみました。







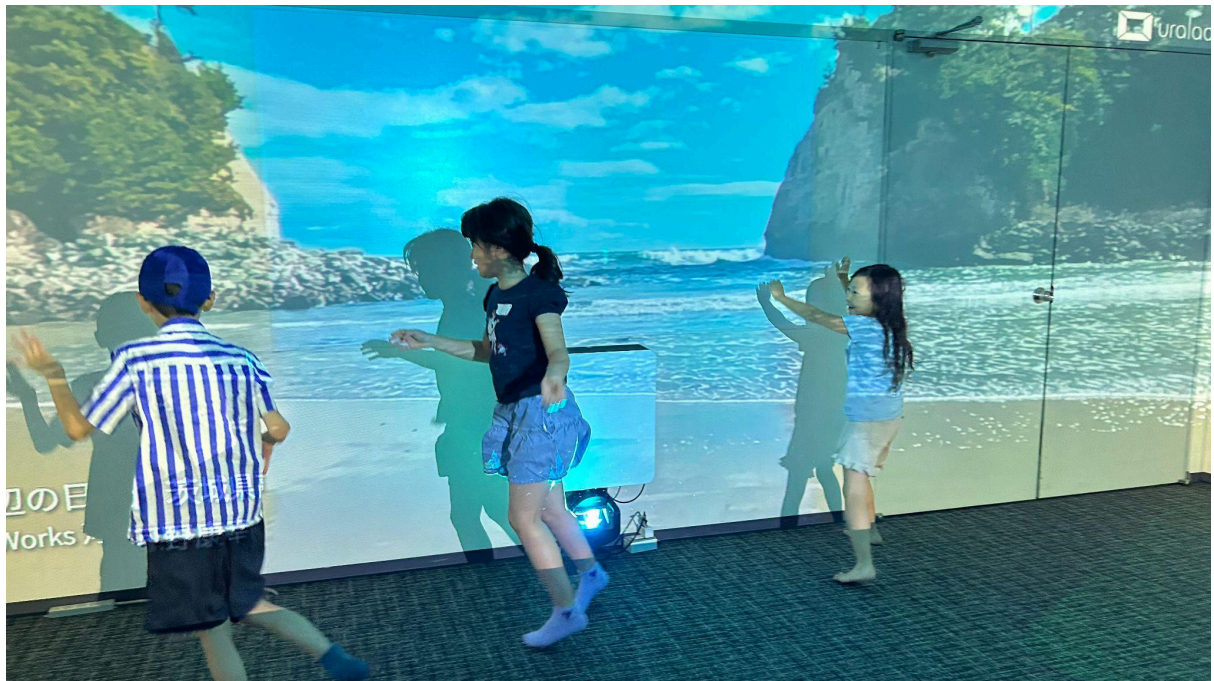
後半は、今回のイベントのために特別に作成されたプレイリストをもとに、全国各地の森林や海、花畑など、まるで旅行に来たような没入体験を楽しみました。雪の中を愛くるしく動くエゾリスの姿に歓声があがります。

空の上をパラグライダーで飛んだり、花畑を眺めたり、紫陽花が見ごろの電車が間近に横切る姿に驚き、スカイツリーから都心の風景を眺めたり、映像が切り替わるたびに「ここ知ってる！」「行ったことがある！」「すごい！」と、楽しそうに反応する様子が印象的でした。

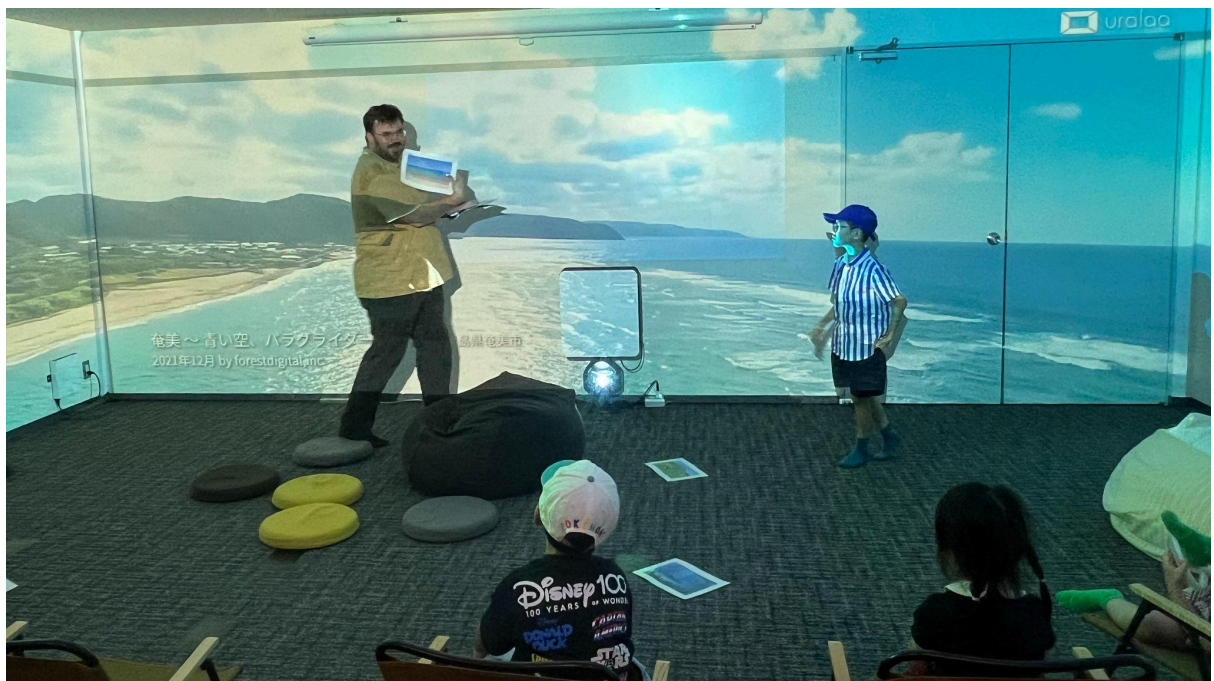




ECCが用意した「ピクチャーカード」の教材をもとに、「どこに行きたい？」と子どもたちとコミュニケーションしながら英語講師が空間VR”uralaa”を操作します。場所が切り替わるたびに笑顔が広がります。「ここはどこかな？」と空間VRを眺め、ピクチャーカードを選ぶゲームも非常に盛り上がりました。リラックスした雰囲気の中で「ここに行ったら何をしたい？」「どこに行きたい？」「あれは何？」「寒そう」と自然に英会話を楽しんでいました。



「空の上に行きたい！」女の子のピクチャーカードをもとに画面が切り替わると、空間VRの中で空の上を飛ぶようにはしゃぐ子どもたちの姿も見られました。







ECCの教材である「ピクチャーカード」と空間VR”uralaa”が組み合わさり、英単語を学びながらも、教材だけでは得られない周辺情報を五感で得られることで、新しいセッションが生まれ、自由に会話が次々に広がります。

空間VRが子どもたちの感性を刺激し、その場にいる全員が風景を共有し、自然な英会話が生まれていく一体感は通常の英語学習とは違った体験となりました。







#### ■関係者コメント

-ECC外国人講師 アンドリュー様-

子どもたちは、通常のレッスンよりもVRレッスンに夢中になっていました。

子どもたちにとってとても楽しかったです。

特に行きたい場所を言うと、それが画面に表示され、実際に行った気分を味わえることが本当に良いと思いました。

-小学生3年生 生徒-

映像に包まれて、みんながどんなことを感じるのかを話せたのが楽しかったです。牛を見て牛乳を絞ろうと話したり、どんどん話題が広がりました。映像に包まれるようなレッスンは初めてだったので、とても楽しかったです。

-小学生2年生 生徒-

VRを撮りに行ったのがすごく楽しかったです。色んな映像を大画面で見れてすごかった！

普段のレッスンとは全然違っていました！空を飛ぶ映像はきれいでしたし、海の中で実際にサンゴ礁に触ってみたいと思いました。映像を見ながら先生とやりとりするのがいつもと違って、実際にその場所に行っているみたいな気持ちになってめっちゃ楽しかったです。

-ECC日本人講師 高品様-

モニターを使ったレッスンは始まっていますが、ここまで360度包まれるような世界観は作れません。これによって子どもたちの知的好奇心が高まっていると感じました。子どもたちのレッスンに対する集中力や態度も、教室と違ってのびのびと楽しんでいるのが印象的でした。これからの英語学習の可能性が広がると感じます。

-取締役COO 宮崎洋一-

ピクチャーカードを起点として、空間VRの世界の中で先生と子どもたちとの会話がどんどん発展して広がっていく様子が印象的でした。VRをはじめとした新しい技術と教育とのコラボを通じて、子どもたちの能力や知的好奇心を引き出す可能性が大いにあることを実感しました。今後も空間VRのさらなる可能性について探求していきたいです。

#### ■空間VR "uralaa(うらら)" 概要

"uralaa"は、大型のマルチスクリーンによる映像やサラウンド音響システム、自然のアロマなどを用いて、どんな部屋でも瞬時に、異空間に変える空間型VRです。

世界初の技術となる"クラウドを通じたマルチスクリーン映像による没入自然空間を再現"するプラットフォームの開発に成功しました。(2022年 当社調べ)

VRでありながら、HMD(ヘッドマウントディスプレイ)など機器不要のため、老若男女どなたでも室内で没入体験ができるのが特徴です。

スマートフォンやPCで日本全国の美しい森や自然を自身で選択でき、演出した空間コンセプトの実現に貢献し、地域の魅力発信・活性化にも貢献いたします。

弊社独自の技術により多様な天井・壁のサイズに対応し、継ぎ目も違和感なく、自然空間に没入することができます。(※プロジェクター性能による制限有り)

常設施設だけでなく、イベント目的で期間限定での導入も可能です。

場所や用途に合った最適な導入をご提案しますので、お気軽にお問い合わせください。

・空間VR"uralaa"の詳細、導入のご検討はこちら: <https://forestdigital.org/>

#### ■フォレストデジタル株式会社 概要



2019年11月に北海道十勝で設立した「デジタル技術を用いて森や自然の価値を共有する」デジタル・ウェルビーイング企業。

「テクノロジーは私たちを幸せにしているのか」という問いに対する解を出すために、ヤフー出身者や十勝の林業家らが集まり創設。2022年1月に、世界初の空間型VRプラットフォーム”uralaa”を一般リリースし、20を超える企業と連携パートナーシップを締結。

- ・社名: フォレストデジタル株式会社 (英語名 forestdigital, inc.)
- ・代表取締役CEO: 辻木 勇二
- ・事業内容: 空間VR”uralaa”の開発、うららパークの運営
- ・ホームページ: <https://forestdigital.org/>

## ■ 株式会社ECC 概要

総合教育・生涯学習機関



ECCは1962年の創業以来、60年以上にわたり、さまざまな教育活動を展開。幼児からシニア世代までそれぞれの目的を実現する独自のカリキュラムや教材を導入し、確かな成果を生み出しています。語学教育を通じて、時代にあった“真の国際人”としての資質を兼ね備えた人材を育てることをECCの使命としています。

<https://www.ecc.co.jp/>

## 【本イベントに関するお問合せ】

フォレストデジタル PR 担当 : 竹田

e-mail: [support@forestdigital.org](mailto:support@forestdigital.org)